

外科のご案内

今号では、当院、副院長で外科部長でもある長谷部医師にインタビューをしました。

汐田総合病院外科は、東邦大学医療センター大森病院一般消化器外科医局の関連病院として平成27年6月から新たな体制で外科医療に取り組んでいます。これまで汐田総合病院外科が当地域で築いてきた地域医療を重視した役割に、消化器外科の先進・専門的な医療も加え、患者さん目線に立った「安全・安心・確実な外科医療の実践」を目標に日々診療に取り組んでいます。

長谷部先生にインタビュー

Q：医師・外科医を目指したきっかけは

父親が外科医だった影響で、幼少期から自然と「医師」に対する興味を持つようになりました。私自身、手先が器用で細かい作業が得意だったため、外科実習を経験してみると、技術が非常に重要で、努力が直ちに具体的な成果として現れる点に深い感銘を受けました。こうした明確な結果が自分の技量を試す機会となり、成長を実感できることが外科の大きな魅力だと感じています。



外科 長谷部医師

Q：大学医療と二次医療現場の違いは

大学医療は高度な医療や教育に特化しており、最先端の治療や研究が行われています。一方、二次医療現場では地域の基礎的な医療サービスと健康管理が中心で、高齢者患者が多く見られます。当院では、外来受診から手術、術後のフォローまで一貫して対応する体制を整えており、患者との距離が近く、より身近に感じられることが特徴です。このような環境で、地域の方々にとって信頼される医療を提供できることに大きな意義を感じています。



Q：汐田総合病院の魅力は

高いプロ意識を持って互いに連携し、患者の治療に全力を尽くしています。協力し合いながら一丸となって取り組むことで、より良い成果を目指しています。また、働きやすい環境が整っているおかげで、日々の業務に対するやりがいを感じながら、安心して専念することができています。

Q：医師として大事にしている事

「患者ファースト」をモットーに、外科医としての技術や知識を常に学び続けています。患者から得られる貴重な気づきや学びを通じて、自身の成長を実感しており、今の自分があるのは患者との深い関わりによるものです。また、一つのことを継続して取り組む姿勢を大切に、専門性をさらに深める努力を惜しまないことで、より良い手術とケアを提供しています。

Q：プライベートで夢中になっているものがあれば

家族と都内で食べ飲み。旅行のYouTube動画。

